

方面イオン協定締結式
1師団 師団長着任行事
12旅団 師団等対空実射訓練
1施設団 東ティモール能力構築支援
関東補処 処長着任行事

(1面)
(3面)
(4面)
(5面)
(5面)



令和6年9月25日 第1076号

総監統率方針「強靭な東部方面隊の創造」
総監要望事項「万事作戦を基準」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙
発行所:方面総監部広報室
住所:東京都練馬区大泉学園町
専用線:8-37-2446



協定締結後に行われたイオングループとの記念撮影



締結書に署名をする総監



締結式で挨拶をする総監

総監部は8月20日、日本全国に店舗を展開するイオングループの内、(株)イオン、(株)イオンリテール及び(株)イオンモールとの間に「大規模災害時等の連携強化に関する協定」を締結した。

イオングループと締結

大規模災害時等の連携強化

本協定の締結により、東部方面隊とイオングループとの間で、大規模災害等発生時における被災情報の共有、災害派遣活動を実施する際のイオングループ店舗及び敷地を災害派遣部隊等の活動拠点として活用することにより、被災現場により近い地域における自衛隊の活動が可能になる。

総監部は今後、協定内容の深化、防災訓練の相互参加等、災害対応に係るさまざまな連携が可能になる。特にイオングループは災害に備えて「災害報告

システム」を整備しており、災害発生時は、全国約2万店舗からの被害情報等が愛知県にある小牧危機管理センターに集約され、全国に共有可能であり、この情報集約機能が、被害状況解明の一助になることが期待される。

また全国に展開するイオングループ店舗及び敷地を災害派遣部隊等の活動拠点として活用することにより、被災現場により近い地域における自衛隊の活動が可能になる。

総監部は8月20日、日本全国に店舗を展開するイオングループの内、(株)イオン、(株)イオンリテール及び(株)イオンモールとの間に「大規模災害時等の連携強化に関する協定」を締結した。



着任の挨拶を述べる久保幕僚副長(防衛)

久保陸将補 沖縄地本長から 方面総監部幕僚副長(防衛)に着任

総監部は8月2日、朝霞駐屯地において転入者紹介行事を行つた。このたびの異動は、沖縄地方協力本部長から久保陸将補が幕僚副長(防衛)として着任した。

東部方面総監部幕僚副長(防衛) 陸将補 久保 勝裕

生年月日 昭和44年9月12日

出身地 兵庫県

学歴 防衛大学校(第38期)

主要経歴

平成28年8月 第15高射特科連隊長兼八重瀬分屯地司令(八重瀬)
同 29年12月 陸上幕僚監部人事教育部募集・援護課長(市ヶ谷)
令和2年3月 教育訓練研究本部総合企画課長(目黒)
同 2年12月 第1高射特科団長(東千歳)
同 4年12月 自衛隊沖縄地方協力本部長(那覇)



総監部全隊員に見送られる牧野前幕僚副長

陸上幕僚監部監理部長は 牧野前幕僚副長へ

総監部は7月31日、朝霞駐屯地において見送り行事を行つた。牧野前幕僚副長(行政)は総監部全隊員よ

り盛大な見送りを受け総監部を後にし、陸上幕僚監部監理部長へ転された。

「希望する業界の企業が複数参加していく。今回の説明会に参加し、やりたいことが明確になると」「説明を受けて再就職への不安が解消された」

企業の説明を受ける任期制隊員

415人の隊員が参加し、各企業の出店ブースが展開した会場の中で事前に面談を希望していた企業や興味を引くブースに積極的に足を運び、企業の概要等について説明を受けた。

参加した隊員からは「希望する業界の企業が複数参加していく。今回の説明会に参加し、やりたいことが明確になると」「説明を受けて再就職への不安が解消された」

陸・海・空自衛隊からも、各企業の出店ブースが展開した会場の中で事前に面談を希望していた企業や興味を引くブースに積極的に足を運び、企業の概要等について説明を受けた。

総監部は引き続き、民間委員会との連携強化を図るとともに、隊員の就職活動基礎を整備していく。

総監部は8月27日・28日の両日、東京流通センターにおいて民間委員会に就職を希望する退職予定の任期制隊員を参加させ、就職準備を円滑に進めるとともに、中隊長に対する援護教育を実施し、中隊長等の意識改革及び就職指導能力の向上を図った。

陸・海・空自衛隊からも、各企業の出店ブースが展開した会場の中で事前に面談を希望していた企業や興味を引くブースに積極的に足を運び、企業の概要等について説明を受けた。

総監部は8月27日・28日の両日、東京流通センタ

玉、千葉、東京、神奈川

に就職を希望する退職予

定の任期制隊員を参加させ、就職準備を円滑に進

めた。また学校関係者に対する同業説明会見学ツ

アを実施し、自衛隊と

して任期制隊員の再就職

に関する民間業者へ委託

する等、態勢をとつていることや、再就職までの流れについて理解を得た。

任期制自衛官の雇用を

希望する企業は年々増加傾向にあり、今年度の参

加申込企業数は1400社を超過、選定の結果

した。

総監部は引き続き、民

間委員会との連携強化

を図るとともに、隊員の

就職活動基礎を整備して

いく。

など、前向きな感想があ

夏休み日替わりイベント

広報センターに1万人超来場



子どもたちに大人気のドーラン体験



起床から消灯までの自衛官の一日をらっぱ吹奏

オーダーメイド職種説明会

陸上自衛隊に対する興味・関心を向上



各職種を詳しく説明
女性自衛官の活躍を紹介

方面隊は7月27日及び8月24日、朝霞駐屯地において、令和6年度オーダーメイド職種説明会を実施した。本説明会は一般幹部候補生試験合格者と一般曹候補生志願者の計63人（保護者含む）が参加して行われ、参加者は陸上自衛隊の16個職種と、サイバーや心理、薬剤、国際、法務の5分野から希望する職種・分野の説明を一日かけて聴講した。各説明ブースでは方面管内のそれぞれの職種部や分野で活躍する現役自衛官が職種・分野を代表して説明し、職種・分



陸上自衛隊広報センターは7月24日から9月1日までの間、夏休み日替わりイベントを開催した。

イベントの内容は平日、日替わりで隊員の特技を展示する。また体験搭乗の体験が行なわれ、土日祝日は車両体験搭乗を実施する。とともに、未就学児でも楽し

た。技術を生かしたらっぱ吹奏、ドーラン体験、ロープワーク体験などを実施した。また写真撮影を実施した他、初の試みとして写真展「多彩な陸上自衛官による異色の写真展～2024夏～」を開催した。

選者優先で体験搭乗等を行っていたが、今回は先着順で各種イベント実施を行った。

毎月実施しているイベントは、参加者を募り、当選者優先で体験搭乗等を行っていたが、今回は先着順で各種イベント実施を行った。これまで募集の

車両体験搭乗は最大30分待ちとなるほどの大盛況なイベントとなった。

東部方面システム通信群濱田3曹の2人が趣味と特技と余暇を活用して撮影した写真を展示した。これまで募集の観点から音楽演奏などはよく行っていたが、写真をテーマにした募集イベントは初めての試みである。来場者からは「隊員の余暇の活用が興味深い。海賊対処を今でも継続していることに感謝する」などの感想があった。

夏休み日替わりイ

ベント期間中、約1

万2千人の来場者

が訪れ、本イベントは大成功を収めた。

ても分かりやすかった。

今度、キャンプの時に試してみます」との感想があ

った。

東部方面システム通信群濱田3曹の2人が趣味と

特技と余暇を活用して撮

影した写真を展示し

た。これまで募集の

観点から音楽演奏などはよく行っていたが、写真をテーマに

した募集イベントは

初めての試みである。来場者からは

「隊員の余暇の活用が興味深い。海賊対

処を今でも継続して

いることに感謝す

る」などの感想があ

った。

夏休み日替わりイ

ベント期間中、約1

万2千人の来場者

が訪れ、本イベントは大成功を収めた。

ても分かりやすかった。

今度、キャンプの時に試してみます」との感想があ

った。

東部方面システム通信群濱田3曹の2人が趣味と

特技と余暇を活用して撮

影した写真を展示し

た。これまで募集の

観点から音楽演奏などはよく行っていたが、写真をテーマに

した募集イベントは

初めての試みである。来場者からは

「隊員の余暇の活用が興味深い。海賊対

処を今でも継続して

いることに感謝す

る」などの感想があ

った。

夏休み日替わりイ

ベント期間中、約1

万2千人の来場者

が訪れ、本イベントは大成功を収めた。

ても分かりやすかった。

今度、キャンプの時に試してみます」との感想があ

った。

東部方面システム通信群濱田3曹の2人が趣味と

特技と余暇を活用して撮

影した写真を展示し

た。これまで募集の

観点から音楽演奏などはよく行っていたが、写真をテーマに

した募集イベントは

初めての試みである。来場者からは

「隊員の余暇の活用が興味深い。海賊対

処を今でも継続して

いることに感謝す

る」などの感想があ

った。

夏休み日替わりイ

ベント期間中、約1

万2千人の来場者

が訪れ、本イベントは大成功を収めた。

ても分かりやすかった。

今度、キャンプの時に試してみます」との感想があ

った。

東部方面システム通信群濱田3曹の2人が趣味と

特技と余暇を活用して撮

影した写真を展示し

た。これまで募集の

観点から音楽演奏などはよく行っていたが、写真をテーマに

した募集イベントは

初めての試みである。来場者からは

「隊員の余暇の活用が興味深い。海賊対

処を今でも継続して

いることに感謝す

る」などの感想があ

った。

夏休み日替わりイ

ベント期間中、約1

万2千人の来場者

が訪れ、本イベントは大成功を収めた。

ても分かりやすかった。

今度、キャンプの時に試してみます」との感想があ

った。

東部方面システム通信群濱田3曹の2人が趣味と

特技と余暇を活用して撮

影した写真を展示し

た。これまで募集の

観点から音楽演奏などはよく行っていたが、写真をテーマに

した募集イベントは

初めての試みである。来場者からは

「隊員の余暇の活用が興味深い。海賊対

処を今でも継続して

いることに感謝す

る」などの感想があ

った。

夏休み日替わりイ

ベント期間中、約1

万2千人の来場者

が訪れ、本イベントは大成功を収めた。

ても分かりやすかった。

今度、キャンプの時に試してみます」との感想があ

った。

東部方面システム通信群濱田3曹の2人が趣味と

特技と余暇を活用して撮

影した写真を展示し

た。これまで募集の

観点から音楽演奏などはよく行っていたが、写真をテーマに

した募集イベントは

初めての試みである。来場者からは

「隊員の余暇の活用が興味深い。海賊対

処を今でも継続して

いることに感謝す

る」などの感想があ

った。

夏休み日替わりイ

ベント期間中、約1

万2千人の来場者

が訪れ、本イベントは大成功を収めた。

ても分かりやすかった。

今度、キャンプの時に試してみます」との感想があ

った。

東部方面システム通信群濱田3曹の2人が趣味と

特技と余暇を活用して撮

影した写真を展示し

た。これまで募集の

観点から音楽演奏などはよく行っていたが、写真をテーマに

した募集イベントは

初めての試みである。来場者からは

「隊員の余暇の活用が興味深い。海賊対

処を今でも継続して

いることに感謝す

る」などの感想があ

った。

夏休み日替わりイ

ベント期間中、約1

鳥海陸将 第41代師団長に着任

要望事項に「信頼」「安全」を掲げる

第1師団

統率方針

「使命を果たす」



第41代師団長の鳥海師団長



頭号師団慰靈顕彰室での献花



行進儀じょう

第41代第1師団長 鳥海 誠司

生年月日 昭和42年7月8日

出身地 埼玉県

学歴 防衛大学校（第34期）

主要経歴

平成24年3月 第39普通科連隊長兼ねて

弘前駐屯地司令（弘前）

平成27年8月 自衛隊兵庫地方協力本部長（神戸）

平成28年7月 第6師団副師団長兼ねて

神町駐屯地司令（神町）

平成30年3月 教育訓練研究本部教育部長（目黒）

令和元年12月 統合幕僚監部総務部長（市ヶ谷）

令和3年12月 第5旅団長（帯広）

第41代師団長として
鳥海誠司（とりうみせ
いじ）陸将が8月2日付
で着任した。

鳥海師団長は練馬駐屯
地に到着後、慰靈碑及び
頭号師団慰靈顕彰室にお
いて献花し、殉職隊員に
哀悼の誠を捧げた。じ
後、儀じよう隊の栄誉礼
を受け着任式に臨んだ。
師団長は着任式において
儀じよう隊及びらつ
ぱ隊の行進儀じようによ
り式場に入場し、頭号師
団長として儀じよう

雄姿を確認した。
師団長は前任地帯広か
ら着任したことから「練
馬は暑い。この暑い中に
着任式を挙行してくれた
隊員諸官に感謝をする。
この初心を忘れず、この
第1師団の指揮を執る」
と感謝の気持とユーモ
アを交え緊張の面持ちの
頭号戦士を和ませると、
「安全」を明示すると
「安全」を明示すると

もに、「隊員の安全なくし
ても、ご家族の信頼や隊員
一人一人の信頼を掴める
ものではない。隊員の安
全は、最優先である。一
緒に第1師団の信頼を築
いていく」と述べた。
その後、司令部の幹部挨
拶、現況報告を受けた。

着任式において儀じよう
隊といふ重責を担い自身
う隊長として参加した第
1普通科連隊重迫撃砲中
隊の角田2尉は「師団の
第一印象となる儀じよう

地元高校生との共演

第3回王子コンサート



師団は7月23日、王子
法人大会との共催により王
子コンサートを実施した。
当日は観客席に満員の來
場者が詰めかけた。コン
サートは二部構成で行わ
れ、東京成徳大学高等
学校及び成立学園中学・高
等学校の吹奏楽部の生徒
たちも演奏に加わり、会
場を盛り上げたまた幕間
では「ミニ防衛講話」を
行い、自衛隊に対する理
解を深めてもらった。

富士学校長（富士）へ



児玉師団長離任
児玉前師 団長は8月
1日、師団
長交代に伴
う離任行事
に臨んだ。

任務が基準「創造的破壊への挑戦」
「地域との連携強化」
「家族を大切に」を要望
事項として、首都防衛の
皆たる頭号師団を指揮し
た。駐屯地を離れる際は、
練馬駐屯地隊員により盛
大な見送りを受け、駐屯
地を後にし、陸上自衛隊
富士学校長（富士）に采
転された。



愛する家族のもとに無事帰国

家族全員でDGPE任務完遂



ドアガン射撃
ドアガン射撃が試される
第1施設大隊の大家2
曹は奥様、長女と3人の
息子を日本に残し、派遣
された。

ドアガン射撃は地上で
おいて実施した。
本訓練は第1飛行隊長
として各普通科連隊及び1飛から選抜さ
れた射手に対し、パイロ
ット及び射手の連携要領
並びに飛行要領に関する
練度の向上、首都機能の
維持に必要な移動間を含
むヘリコプターからの射
撃練度の向上を図ること
を目的として行われた。

ドアガン射撃は地上で
行う射撃とは異なり、搖
れる機上で射撃となる
ため、弾着が広範囲にな
るとともに、気象の影響
も受けことから射手に
は高い練度が求められる。
本訓練間は猛暑日が続
いたが、隊員は高い集中
力をもってパイロットと
射手が密に連携し、全射
手が各習会の合格基準に
到達し、所望の成果を収
めた。

アフリカ東部ソマリア
沖アデン湾での海賊対策
に当たる派遣海賊対処
行動支援隊（DGPE）の
第21次要員として派遣さ
れていた師団の隊員76人
の帰国行事が7月31日に
大宮駐屯地（第1派）
で、8月3日に練馬駐屯
地（第2派）でそれぞれ
行われた。

帰國した派遣隊員は、
家族や駐屯地の隊員ら多くの出迎えを受け、笑顔で
駐屯地内を行進した。

帰国行事では師団長より
効いの言葉がかけられ、
隊員一人一人が派遣先で
思い出等をスピーチし
て、会場は笑いに包まれ
無事に任務を完遂し帰国
したことを喜び合った。
遂に家族のもとに戻って
父さん不在の家をお母さん
と一緒に守ってきた。
「パパが無事に帰ってきて来
てくれない。また自慢の
パパと一緒にランニング
をしたい。何よりもたくさん
甘えたい」と笑顔で
話してくれた。それに笑
顔で答える大家2曹の目
じりには光るものがあつ
た。家族全員で任務を完
遂した2人の真っ黒に焼
けた笑顔に輝く白い歯が
印象的であった。（写真）

た。会場は笑いに包まれ
行動支援業務隊施設班の
先任陸曹として任務を完
成したことを喜び合った。
遂に家族のもとに戻って
に弟3人の世話をと、お
母さんが不在の間、学業と
部活の陸上を頑張りつ
つ、お母さんのお手伝い
されました。父さん不在の家をお母さん
と一緒に守ってきた。
「パパが無事に帰ってきて来
てくれない。また自慢の
パパと一緒にランニング
をしたい。何よりもたくさん
甘えたい」と笑顔で
話してくれた。それに笑
顔で答える大家2曹の目
じりには光るものがあつ
た。家族全員で任務を完
遂した2人の真っ黒に焼
けた笑顔に輝く白い歯が
印象的であった。（写真）



納涼大会(盆踊り)



和太鼓演奏



古河駆屯地は7月24日、納涼大会を実施し、地域との交流促進及び防

づま

古河駆屯地は7月24日、納涼大会を実施し、地域との交流促進及び防

衛基盤の充実に寄与した。納涼大会は古河駆屯地

創設70周年事業の一環として例年以上に趣向を凝らして駆屯地所在部隊が

地域住民7000人超が来場！

一体となり準備したもので、当日は天候も良く、また子供たちが夏休みに入った最初の週ということもあり、約7千人超の民・関係者が来場した。

祭り会場では、地元中高校生や地域住民によるアトラクション（ダンス、軽音楽・文化展示、愛好団体による太鼓演奏、盆踊り、ちびっこ広場等が運営された。特に盆踊りは部隊対抗形式で行われ、新隊員教育隊が躍動感溢れる踊り披露して大いに盛り上がりを見せ、審査員は「本当に楽しめた」とのコメントがあった。毎年、多くの来場者を魅了した打ち上げ花火は今年からは実施しないが、地

7日、7月16日から25日までの間、東ティモール民主主義共和国に対する能力構築支援（ハリ・・ハム・ウック24）（以下、「HH24」）といふに係る事前訓練を実施した。HH24は平成27年以来、日米豪及びニュージーランドの4カ国が、東ティモール軍に対する施設分野及び車両整備の技術指導を行う事業であり、第1施設団の派遣は、平成30年から6回目となる。

今年度派遣予定の第3

施設団は6月3日から7日、7月16日から25日までの間、東ティモール民主主義共和国に対する能力構築支援（ハリ・・ハム・ウック24）（以下、「HH24」）といふに係る事前訓練を実施した。HH24は平成27年以来、日米豪及びニュージーランドの4カ国が、東ティモール軍に対する施設分野及び車両整備の技術指導を行う事業であり、第1施設団の派遣は、平成30年から6回目となる。

今年度派遣予定の第3

東ティモール能力構築支援 事前訓練により準備を万全

力を向上させるとともに、日米間の交流を更に深めることができた。

派遣隊員紹介

（第1施設団）
第306施設隊
（第1施設団）
第1施設団本部付隊
3曹 宮原 左也

2尉 八文字 敏
3曹 小川 芳
3曹 中村 嘉男
3曹 坂田 優次
2曹 田原 僚人
2曹 比留間 大地



力向上させるとともに、日米間の交流を更に深めることができた。



力向上させるとともに、日米間の交流を更に深めることができた。

この際、日米交流として、古河駆屯地に在日米陸軍司令部の将校と米陸軍日本地区工兵隊を招き、通訳要員と連携して実戦的な訓練を実施

派遣要員の指導・通訳能

派遣要員の指導・通訳

ある！ある！自衛隊

byともえ



自衛隊の活動紹介をする黒木・松山親子



短艇へ乗船して説明を受ける高校生等

炎天下の見学では、たが、陸海空の部隊を一日で見学することができた。神奈川地方協力は来場者から「陸上自衛隊と航空自衛隊はどなたが違いますか」「資格を持って入隊するといふことはありますか」といった質問が寄せられ、陸・海・空の自衛官が自らの知識や経験を基に親切に対応した。

